

緑の人工芝に リニューアル



①関係者らによるテープカット。いよいよオープンとなりました
②③テープカット後は、地域住民に開放。体操やグラウンドゴルフで楽しみました

幅広い目的に対応

Yasuyuki Shima



島 教育委員会
生涯学習課
係長
靖幸

人工芝にしたのは、雨の影響を受けにくく、転んだ際の傷やけがが軽く済むからです。芝は他の施設より長くなっており、クッション性が優れています。また、天然芝と違って寝転がっても肌がかゆくならないのも、人工芝の特徴です。

このグラウンドを多目的としたのは、特定のスポーツだけではなく、より多くの人たちに利用いただきたいからです。本格的に競技として取り組む人から、健康維持のために軽い運動を楽しむ人まで幅広く利用いただけます。屋外にある地域の体育館と考えていただければと思います。



オープンから2日後の4月4日、暖かな春の日差しの中、小学生たちがサッカーを楽しんでいました

USER'S VOICE

Yudai Chiba

千葉雄大くん
南方小4年



人工芝は土と違って、汚れないし、ボールが蹴りやすいのでいいです。それと、転んでも痛くないので、スライディングやダイビングヘッドを思い切ることができます。

グラウンドを利用した皆さんに感想を聞きました

Syota Hojo

北條翔太くん
登米小5年



土より、人工芝のほうがいいので、近くに来てよかったです。人工芝だと、天然芝と違って、一年中サッカーができるのでうれしいです。もっと練習してうまくなりたいです。

Shigeko Oikawa

及川しげ子さん
東和町米谷3区



リニューアル前から、グラウンドゴルフで使っていました。とてもきれいになったので、新鮮な気持ちです。人口芝と土では、転がり方が違うので、早く慣れたいですね。

東日本大震災により使えなくなっていた東和総合運動公園多目的グラウンドの修復工事が完了し4月2日、オープニングセレモニーが開催され地域住民や関係者ら約200人が出席しました。

セレモニーでは、布施孝尚市長が「人工芝は雨が降っても使用できます。競技技術の向上や健康増進、地域の交流に役立てていただきたい」とあいさつ。関係者らによるテープカット後、グラウンドが一般開放され、市民がサッカーやグラウンドゴルフなどで楽しみました。

市では、平成25年から震災で崩壊した野球場とテニスコート、グラウンドの3施設を修復工事を実施していました。総工費は約10億円で国の災害復旧費補助金などを活用。テニスコートは昨年春完成し、野球場は本年7月から利用可能の予定です。

多目的グラウンドはこれまでの土から人工芝に整備され、総面積は1万5674平方メートル。ラグビー、一般用サッカーは1面、少年用サッカー、少年用野球場は2面取れ、アチエリートやグラウンドゴルフ、運動会用200メートルトラックなどにも対応しています。